



Joyful Naturalist

Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

- Topics * 小山田緑地における協働の取り組み
(小山田緑地における源流ネットの1年)
* 鶴見川・冬鳥調査報告
源流・上流編/恩田川編
* 鶴見川源流ネットワークHATS同窓会設立
NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。
鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。
1月、2月の活動報告
3月、4月の活動予定

No.156



2007年2月11日、和光大学J401教室にて「鶴見川流域ふれあいセミナー夢討論会」が開催されました。夢討論会とは鶴見川を題材にして総合学習に取り組んでいる小学校に、学習内容、成果を発表してもらい情報交換をしながら交流をする会です。和光大学は鶴見川流域に位置していて、私達かわ道楽を含め流域の保全活動に力を入れています。私たちもその関係で参加しました。

自分の子ども時代に出来なかった川の生きものについての発表、私たちはそのお手伝いを和光大学・かわ道楽としてすることになりました。上手にお手伝いできるか心配でしたが、会場がお馴染みの鶴見川の近くの和光大学であること、いつもの仲間と一緒にお手伝いするというので、楽しみだという思いのほうが心配を上回っていました。昨年も発表を拝見しましたが、自分の住んでいる自然についてこれだけ調べて面白い発表形式を考えて、あの大舞台上で発表するという熱意には感嘆しました。それだけに、今年はより一層楽しみでした。

今年もまた驚かせてくれました。どの学校の児童も本当に鶴見川と動物が好きであり、好きだから実物はもちろんペンや模造紙の上でも追いかけられる。「鶴見川の歌」も分かりやすく、歌も力強く、鶴見川の未来あることを確信させられるくらいの熱唱で、会場を感動の渦に巻き込んだでしょう。児童の発表を聞いて、私達もより頑張らなければいけないと思い、私達の発表では緊張しました。負けずと私達の発表者もうまく和光の自然の説明、クイズなどひねりをきかせて会場を賑わしたと思いますが、それでも閉会后も児童の力に圧倒されていたことに気づかされました。

無事に終わり私達も満点だといいあったように、見学者であり、お手伝いであり、できなかった発表にあこがれる元小学生として会場に参加しまして、子供たちと鶴見川の関係の更なる発展を期待すると共に、来年ももちろん参加したいと思いました。

【和光大学・かわ道楽 田中佑磨】